

スペイン人画家が学校訪問

芸術の魅力伝える

静岡市葵区黒俣のNPO法人やまっこの家チャリティ絵画展実行委員会主催の絵画展に出品するため、来日したスペイン人画家のミゲール・ペイドロ・ベンゲル氏(62)が19日、同区の県立静岡北特別支援学校と市立峰山小を訪ね、芸術活動を通じて子どもや地域住民と交流した。

子どもらと一緒に絵筆

葵 区



子どもたちと一緒にナスの絵を描くミゲール氏(中央)

|| 静岡市葵区の県立静岡北特別支援学校

特別支援学校では、ミゲール氏が小・中学部の各クラスを順に回り、ハンカチ、たわしの製作やスケッチ授業などの様子を見学。直筆サインをプレゼントしたり、ナスの絵を一緒に描いたりして芸術の魅力を伝えた。

ミゲール氏は「日本の子どもたちの良い表情を見られた。もっといろいろ教えたい」と話した。

「将来すばらしい芸術家になれる」と書かれたサインをもらった中学部1年生の原田壮斗君(12)は「生き物の足の描き方がきれいといほめられた。絵をずっと続けていきたいと思った」と喜んだ。

実行委は20、22日、現代国際巨匠絵画展(静岡新聞社・静岡放送後援)を静岡市民文化会館で開催。ミゲール氏の風景画約50点のほか、ピカソや平山郁夫など国内外の巨匠作品計約300点が並び、入場無料で、作品の販売収益の一部は障害者施策に充てられる。ミゲール氏のサイン会も連日企画する。

きょうから 葵区でチャリティー絵画展

静岡市葵区黒俣のNPO法人「知的障害者支援の会やまっこの家」(森下勝巳理事長)は二十一日、同区の市民文化会館で、チャリティー企画「現代国際巨匠絵画展」(中日新聞東海本社後援)を開く。出品するスペイン人画家ミゲール・ペイドロさん(六三)が十九日、法人施設に近い峰山小学校を訪れ、子どもやお年寄りとの交流を楽しんだ。

(美細津仁志)

スペイン人画家「何か感じて」

峰山小は中山間地に いたつた。あり、全校児童六人と お年寄りを交えての いう県内三番目の小規 交流会で、ペイドロさ 模校。この日来日した さんは「家は貧しかった ばかりのペイドロさん が、絵を描くことは好 は、少子高齢化の進む きだった」「画家にな 地域の活性化になれば ることを父親が応援し と訪問。子どもたち の てくれた」と自己紹 キスの出迎えを受け 介。子どもから「何色 「緑がきれい。私は緑 が好きか」と質問を受 の絵を好んで描くので けると「濃い色や薄い 感動しています」とあ 色ではなく、命の色、



地域活性化へ 峰山小児童らと交流

強い色が好きです」と 答えた。法人は来年四月に、 知的障害者の農作業を 支援する施設の整備を 進めている。今回の絵 画展は整備資金に充て るため、企画会社「ほ るぶエアンドアイ」 (大阪府)の協力で開 く。 各日午前十時から午 後六時まで。ペイドロ さんの約五十点を はじめ、国内外の有名画 家の作品約二百四十点 を展示する。入場無 料。ペイドロさんのサ イン会も一日三回あ る。

ペイドロさんは「自 分の絵はノスタルジー を感じるとよく言われ る。絵を見て、何かを 感じてほしい」と話 していた。



①自ら描いた似顔絵に、ペイドロさん(左から2人目)からサインをもらう児童ら
②来日したペイドロさんを歓迎する子どもたち。いずれも静岡市葵区の峰山小で